

平和と平等 切り離せない

支部、女性会議など総会続く



第2回CU東京女性会議総会（2026年5月31日）

CU東京女性会議第2回総会・・・・・・・・・・・・・・・・

「仲間を一人ぼっちにしない」を活動の柱に

CU東京女性会議の第2回総会が5月31日(日)、東京労働会館で開かれ、10名が参加しました。ジェンダー平等をめぐる現状や働く女性の課題について学び合い、看護・介護・保育などケア労働の現場で働く女性たちの声を交流しました。

女性会議議長の伊東弘子さんは、主催者あいさつで「平和なくして平等なし、平等なくして平和なし」と、ジェンダー平等の実現と平和は切り離せない課題だと話しました。CU東京本部からは、高畠素昭副委員長が、韓国の民主化運動の経験を紹介しました。韓国では弾劾闘争の中で、多くの

若い女性たちが行動し、農民や市民との連帯を広げたことに触れ、「これからは女性の時代だと実感した」と発言。来賓の東京地評女性センター事務局長・菊池友里さんは、東京大空襲・戦災資料センターを訪れた経験から、「平和でなければ、労働組合が勝ち取ってきた権利も守れない」と強調しました。

伊東議長による基調報告では、ジェンダーギャップ指数118位という日本の現状や、第6次男女共同参画基本計画において「雇用」の視点が後退している問題について報告されました。討論では、看護・介護・保育に共通する課題として「感情労働」が話題となり、「ケア労働の価値を社会に伝えていくことが必要」「現場の声を可視化し、運動に繋げていきたい」など、活発な議論となりました。

2026年度の女性会議活動方針は、前年度に引き続き「仲間を一人ぼっちにしない」「居心地の良い場となるよう努力する」「愚痴や悩みに寄り添った支援を目指す」ことを筆頭に掲げています。安心して語り合い、学び合い、支え合うことが社会を変える力になる。総会参加者はランチ交流を通じて親睦を深めながら、その思いを共有しました。
(会報『CU東京女性会議 No.20』にて詳報)

支部総会から..... 「加入して良かった」の声も

2026年5月16日(土) 13:30より
於・中野区産業振興センター

CU東京中野支部は5月16日(土)第10回定期総会を開きました。冒頭、中村委員長が「19人でスタートした中野支部が60人に達した。CU組合の知名度を上げて、100人の支部にしよう」と強い決意のあいさつ。一気に熱のこもった会議になりました。



毎年の総会で学習をしています。今年は、白滝誠 CU東京書記長を講師に「労働基準法改悪に対するたたかい」がテーマ。高市政権は、人手不足を長時間労働で埋めようとの財界の意向を受けて労働時間規制緩和・裁量労働制拡大などをすすめています。憲法改悪の暴走政治ストップの国民的運動と連帯してたたかいを強めようと話し合いました。

討論と交流では、総会初参加の方や突然に解雇通知を受けた方からの発言で、CU組合の重要性を再認識し、たたかう決意が語られました。欠席の方のハガキも紹介されました。「CUと共に団交を重ね時給アップに成功しました。10年以上変わらなかった時給、生活も大きく変わります。改めてCUに加入して良かった」「いつもニュースをありがとうございます。労働条件改善、賃金引上げ、職場の権利保護に向けてとりくみに期待しています」

意見と交流の後、経過報告と運動方針、会計報告と予算案が全員の拍手で承認、決定。26年度支部役員が選出されました。

26年度中野支部役員

執行委員長	中村文康	
副委員長	浜崎 亮	石井富郎
書記長	板垣寿一	
書記次長	牧野大志	菊池恒美
執行委員	中村裕次	中村健一
	今福 郁	
会計監査	菊池 亮	

品川レク

熊は出なくて、 酔虎が出た

青梅丘陵ハイキングと青梅鉄道公園見学

5月24日(日)は7人で青梅駅に10時過ぎに着き、青梅丘陵に向かった。前日の雨が上がりで気持ちよく歩け、途中の山火事跡や第一、第二休憩所を往復し、熊の出没もなく12時前に青梅鉄道公園に着き見学した。

3月にリニューアルオープンしたばかりであり、13両の展示車両は迫力があつた。参加者のうち3人は、疲れたのか動かず見入っていた。

見学後、予約していた駅前の居酒屋に入り、生ビールと食事をしながら、カラオケまでやり、酔虎も出て大いに交流した。帰りは15時発の東京行青梅特快で帰路に着いた。

残念だったのは、組合員拡大を狙っていたが、参加者全員組合員だったのが惜しまれた。



展示車両の前で(2026年5月24日)

ぜひ
傍聴を!

JAXAで働く戸川さんの 「労災不支給撤回裁判(パワハラ他)」

日時：2026年9月14日(月) 13:30~
場所：横浜地裁502号法廷